

平成27年度指定管理者評価結果票

所 管 課	健康福祉部 障害福祉課
評価対象期間	H27.4.1 ~ H28.3.31

1 基本情報

施設概要	名 称	岐阜県立幸報苑
	所在地	山県市大桑3606
指定管理者	名 称	社会福祉法人岐阜県福祉事業団
	構 成 員	—
	所在地	岐阜市下奈良2-1-1
	指定期間	H23.4.1 ~ H28.3.31
指定管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設を維持管理すること。 施設の利用者の処遇に関すること。 その他知事が別に定める業務に関すること。 	

2 利用状況を把握するための指標

指標	利用者数 (単位:人)
H25	1,216
H26	1,168
H27	1,184

3 平成27年度の収支状況

(単位:千円)

収 入 計	201,795
利用料金	201,026
指定管理料	0
そ の 他	769
支 出 計	192,681
人 件 費	131,663
施設管理費	13,790
そ の 他	47,228
差 引	9,114
納 付 金	—

4 前年度の評価員会議の主な意見及び対応

前年度の評価員会議の主な意見	対応状況
・利用者の個別支援計画の中で、短期目標の確実な実践に期待している	・短期目標を確実に実践していくため、会議の中で個別支援計画の読み合わせを行うと共に、日々の記録の中で個別支援計画に関する内容に関しては印をつけ、確認しやすいよう配慮している。
・利用者の入退院や施設の老朽化は致し方のないことであるが、定員の充足は、常に心がけることを期待したい。また、旧授産施設の特徴を残した経営をするのか、重度化に対応した施設経営とするのか。今後の運営方針を立てる時期だと思われる。	・事業団内の知的障がい者施設利用者で身体障がいを持っておられる方の積極的な受け入れを行っている。近年の重度・高齢化から、きめ細やかな支援が必要となっている。日中活動の一部に作業を取り入れ、作業時間の短縮や利用者自ら選択できる環境を増やし、楽しみや生きがいを持てるように検討している。

5 評価員会議による評価結果

評価項目	評価点 (平均点)	評価員の主な意見
管理基準の充足状況	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の自己選択・自己決定に努めている。重度化・高齢化しているなかで、利用者のニーズに沿った支援計画の目標と振り返りが確実になされている点は評価できる。 ・視覚障がい者研修や介護技術研修など、利用者ニーズに即した研修により職員の資質向上に努めている。 ・施設の維持管理は適正に行われている。運営も施設の特色を生かした施設運営に努力している。
設置目的の充足状況	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ・地域移行に向けた利用者の要望に応え支援が工夫されている。実現に向けて引き続き努めて頂きたい。 ・旧授産施設であり、生産活動や地域移行を目指す利用者への支援の取り組みなど、「ひとりひとりの生きる力を支援する」理念に沿った運営努力をしている。
公共性の確保の状況	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・CS調査における小さな要望にもきちんと応えている姿勢が窺える。 ・施設経営委員会(地域関係者が構成員)、地域自治会や近隣施設との懇談会、防災会議等を定期的で開催。地元の保育園、小学生、中学生との交流会、職場体験、ボランティアの受け入れなど、風通しの良い施設づくりをしている。 ・危機管理に関しては従来の延長線上のまま。新しい取り組みが必要。
経営状況	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ・知的障がい者施設利用者の積極的な受け入れなどで、定員充足に努めている。 ・収支、経営状況は適正といえる水準で推移している。
派生的効果	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスを利用しての外出が増えていることは大変喜ばしい。生活の自主・自律が広がっていることであり自宅・在宅での自由な外出が施設でも実現されることを希望する。 ・地域との積極的な関わりの場を設け、ボランティア等を受け入れている。 ・災害発生時福祉避難所としての備え、備蓄品だけでなく、動きの訓練を実施しておくとうい。

<評価基準>

5	定書等に定める水準を上回る管理運営がなされており、かつ特筆すべき実績・成果を上げている
4	協定書等に定める水準を上回る管理運営がなされている
3	協定書等に基づき、適切な管理運営がなされている
2	協定書等に基づき、概ね適切な管理運営がなされているが、一部に更なる工夫や改善を要する
1	改善を要する

6 県による評価結果

最終評価	評価の考え方
A	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に応じたケアプラン等の作成を行い、適切な支援を達成するための目標を設定し、実践することができたかの確認を行うなどの取り組みが行われている。 ・危機管理について、防犯の観点から検討が必要。 ・地域との関わりを積極的に持つよう努めている。 ・地域移行を目指す利用者には個別に希望に応じて作業の時間を延長するなど、柔軟な支援を行っている。

<評価基準>

S	優れた管理運営がなされており、かつ十分な実績・成果を上げている
A	優れた管理運営がなされている
B	適正な管理運営がなされている
C	改善を要する